

警察署協議会会議録

直方警察署協議会

開催年月日時	令和8年8月7日 午後2時00分 から 令和8年8月7日 午後3時15分 まで	
開催場所	直方警察署 大会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下8名
	警察署	署長、副署長、総務課長、会計課長、生活安全課長、宮若警部交番所長、 刑事課長、交通課長、警備課長、総務第二係長
議事概要		
【会長挨拶（要旨）】 署長を始め署員の皆様におかれましては、地域の安全・安心のために尽力いただき感謝を申し上げます。先日、直方在住の中学生がデザインしたクリアファイルを直方署が配布して防犯啓発活動を行ったというニュースを見たが、特殊詐欺などの被害防止のためには、このようにメディアを上手く活用した啓発活動が有効だと思えた。 【署長挨拶（要旨）】 管内の花火大会などの大きな行事は無事終了し、熊本で発生した地震では管内でも震度4が記録されたが幸い被害等はなかった。本日は、上半期の治安情勢や取組状況、交通情勢について説明させていただくので、協議会委員の皆様にはそれぞれの立場から忌憚のない御意見をいただき、今後の警察活動に役立たせたいと考えている。 【報告事項等】 1 令和8年上半期の治安情勢、取組状況について ～ 総務課長 2 交通情勢について（飲酒運転情勢、暴走族対策）～ 交通課長 【質疑応答等】 ○ 委員から「トクリュウ対策の一環として、ヤードへの立入りを行っているということだが、ヤードでは中古車が取扱われているのか。」旨の質疑があり、署長から「中古車に限らず輸出目的の機械などが解体・保管されている。管理状態が悪く大きな火災が発生したこともあり、その予防や実態解明のために立入りを行っている。」旨の回答があった。 ○ 委員から「数か月前に警察を騙る詐欺の電話があったが、このような場合は犯人を捕ま		

議 事 概 要

えるために騙された振りをした方がいいのか。」旨の質疑があり、署長から「個人情報の収集が目的の場合もあり、騙された振りをするのは得策ではない。詐欺の電話があった際は警察に通報していただきたい。」旨の回答があった。

○ 委員から「飲酒運転で検挙される人について年齢の傾向はあるのだろうか。」旨の質疑があり、交通課長から「どちらかと言えば年齢層は高めで、お酒をやめたくてもやめられず、昼間から飲酒している人も多い。」旨の回答があった。

○ 委員から「熊本で発生した地震では、福岡県警からも派遣されているのか。」旨の質疑があり、署長から「県警機動隊が当日には派遣されているほか、広域緊急援助隊も派遣されている。今後、復興に時間を要することになれば、治安対策のパトカーの部隊などが派遣されることになる。」旨の回答があった。

○ 委員から「特殊詐欺の被害額の高さに驚いているが、傾向について教えて欲しい。」旨の質疑があり、刑事課長から「被害額が多いのは投資詐欺であり、利益が出ているなどと言われ被害に気付かないまま入金を繰り返し、詐欺と分かった時には被害が高額となっている。」旨の回答があった。

○ 委員から「20年前の痛ましい飲酒事故の説明があったが、私の地域で行われているお神酒が振舞われるイベントに車で来る者はいなくなった。飲酒運転を撲滅させなければならぬという意識がようやく浸透してきたように思える。」旨の意見があった。

【署長総括】

当署に着任以来、街頭活動の強化に力を入れてきた。室外機や太陽光パネルの銅線を盗まれる事案が多発した際等は、傾向を分析して対策を取り、検挙に結び付けてきた。しかし、トクリュウによる犯罪も身近に迫っており、職務質問されて逃走し乗り捨てられた車両から大量の薬物が見つかった事案や、田川では職務質問されたトクリュウメンバーが強盗予備罪で検挙された事案も発生するなど、警察も危機感をもって臨んでいる。皆さん方には、小さな事案でも積極的に通報していただき、その積み重ねが検挙に繋がるものと思っている。昨年は、女子高生が薬物を打たれて性的暴行を受けるという痛ましい事件も発生しており、そのような事件を防止するため、引き続き、街頭活動を強化していく所存であるので、今後ともご協力をお願いする。

【閉会】

以上で、直方警察署協議会を閉会する。